

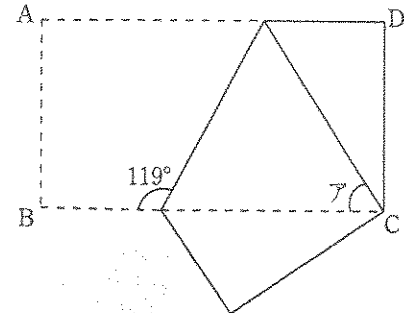
平成31年度土佐中入試	第2日	算数A	2枚のうち 1枚目	番号		氏名	
-------------	-----	-----	--------------	----	--	----	--

I 次の にあてはまる数を書き入れなさい。

(1) $0.625 - \left(1\frac{4}{5} + \text{ } \right) \div 5.8 = \frac{7}{24}$

(2) 右の図のように、長方形の紙を頂点 A が頂点 C に重なる

ように折ります。アの角の大きさは 度です。

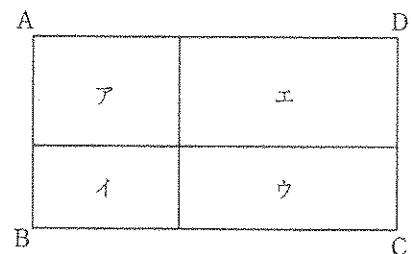


(3) 10 円玉, 50 円玉, 100 円玉が合わせて 100 枚あり, 総額は 4960 円です。50 円玉の合計金額は 10 円玉の合計金額の 5 倍で

す。このとき, 100 円玉は 枚です。

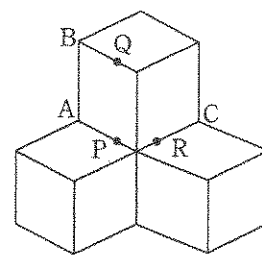
(4) 右の図のように, 長方形 ABCD の中にア～エの 4 つの長方形があります。この 4 つの長方形には, 1 辺が 1 cm の正方形をすきまなく重ならないように並べることができます。ア, イ, ウの面積がそれぞれ 156 cm^2 ,

143 cm^2 , 187 cm^2 のとき, エの面積は cm^2 です。



(5) 右の立体は, 1 辺が 3 cm の立方体 4 個をすきまなく積み重ねたもので, $AP=2 \text{ cm}$, $BQ=2 \text{ cm}$, $CR=2 \text{ cm}$ です。3 点 P, Q, R を通る平面でこの立体を切ると, 2 つの立体に分かれます。この

とき, 大きい方の立体の体積は cm^3 です。



(6) ある絵画を仕入れて, 仕入れ値を 1.3 倍してから 1000 円を引いた値段を定価としました。この絵画を定価の 1 割引きで

売ったところ, 利益が 800 円になりました。仕入れ値は 円です。

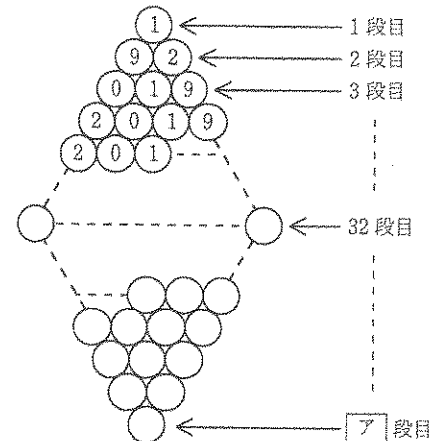
平成 31 年度土佐中入試	第 2 日	算数 A	2 枚のうち 2 枚目	番号		氏名	
---------------	-------	------	----------------	----	--	----	--

2 A, B, C の 3 人が算数のテストを受けました。A の点数が一番低く、C の点数が一番高いです。また、A と B の平均、B と C の平均、C と A の平均は、低い順に 55 点、69 点、75 点です。次の にあてはまる数を書き入れなさい。

(1) C と A の点数の合計は 点です。

(2) B の点数は 点です。

3 右の図のように、円を並べて、その中に 1, 9, 2, 0 の数をこの順にくり返し書いていきます。ただし、円は 1 段目から 32 段目までは 1 個ずつ増やし、33 段目からは 1 個ずつ減らしながら並べます。また、数は 1 段目から書き始め、それぞれの段では左はしからつめて書いていきます。次の にあてはまる数を書き入れなさい。



(1) 右の図のアにあてはまる数は です。

(2) 32 段目に書かれている数をすべてたすと です。

(3) 0 が書かれている円が 2 個以上ある段は全部で 段あります。

4 図 1, 図 2, 図 3 は、それぞれ 1 辺の長さが 18 cm の正方形の辺のまん中の点と頂点を直線で結んでできたものです。後の にあてはまる数を書き入れなさい。

図 1

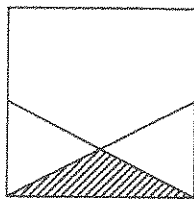


図 2

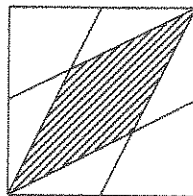
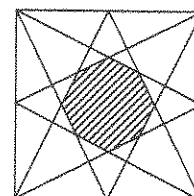


図 3



(1) 図 1 で、斜線部分^{しゃせん}の面積は cm^2 です。

(2) 図 2 で、斜線部分の面積は cm^2 です。

(3) 図 3 で、斜線部分の面積は cm^2 です。

平成 31 年度土佐中入試	第 2 日	算数 B	2 枚のうち 1 枚目	番号		氏名	
---------------	-------	------	----------------	----	--	----	--

- 1 家から学校までは 1.2 km あります。兄と弟の 2 人が 8 時に家を出発し、兄は家と学校の間を休みなく 2 回往復します。また、弟は家と学校の間を休みなく往復します。ただし、2 人の歩く速さは一定で、兄の歩く速さは弟の歩く速さの 2 倍です。次の問いに答えなさい。

(1) 2 人が初めてすれちがう地点は家から何 m ありますか。

[求め方]

答

(2) 2 人が 2 回目にすれちがうのは 8 時 40 分です。兄の歩く速さは時速何 km ですか。

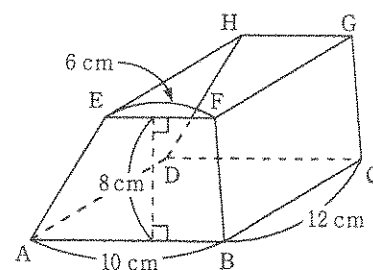
[求め方]

答

- 2 右の図のような角柱の容器があります。この角柱を長方形 ABCD を底にし、
水平な床の上に置き、満水になるまで水を入れました。この容器に立方体のおも
り P を静かに入れたところすべて水にしずみ、入っていた水の $\frac{1}{12}$ がこぼれまし
た。次の問いに答えなさい。

(1) おもり P の 1 辺の長さは何 cm ですか。

[求め方]

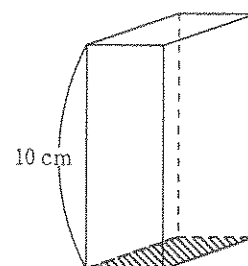


答

- (2) おもり P を取り出し、下の図のような直方体のおもり Q を斜線部分が容器の底につくまで静かにしずめたところ、水がこぼれました。その後、おもり Q を取り出すと水面の高さが 4 cm になりました。おもり Q の斜線部分の面積は何 cm^2 ですか。

[求め方]

おもり Q



答

平成 31 年度土佐中入試	第 2 日	算数 B	2 枚のうち 2 枚目	番号		氏名	
---------------	-------	------	----------------	----	--	----	--

3 A, B, C の 3 つの箱があり, それぞれの箱におはじが入っています。A に入っているおはじの個数の $\frac{1}{6}$ のおはじを C に移し, B に入っているおはじの個数の $\frac{1}{7}$ のおはじを C に移しました。さらに, A に残っているおはじの個数の $\frac{1}{5}$ のおはじを B に移すと, A と B に入っているおはじの個数は同じになりました。また, C に入っているおはじの個数は, はじめに C に入っていた個数の 2 倍になりました。次の問いに答えなさい。

(1) はじめに A と B に入っていたおはじの個数の比を, もっとも簡単な整数の比で表しなさい。

[求め方]

答

A		B
	:	

(2) はじめに A と C に入っていたおはじの個数の比を, もっとも簡単な整数の比で表しなさい。

[求め方]

答

A		C
	:	

(3) はじめに B と C に入っていたおはじの個数の差は 360 個でした。おはじは全部で何個ありますか。

[求め方]

答 _____

4 1 から 2019 までの整数を, 20 や 19 で割ったときの商と余りについて考えます。ただし, 商は整数とします。また, 割られる数が割る数より小さいとき, 商は 0 で, 余りは割られる数と等しくなります。次の問いに答えなさい。

(1) 1 から 2019 までの整数のうち, 20 で割っても 19 で割っても余りが同じになる整数は全部で何個ありますか。ただし, 割り切れるときの余りは 0 とします。

[求め方]

答 _____

(2) 1 から 2019 までの整数のうち, 20 で割っても 19 で割っても商が同じになる整数は全部で何個ありますか。

[求め方]

答 _____